

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 神戸市立中央体育館 Gコート

試合区分: No. 416 少年女子 2回戦

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 鈴木 弘美

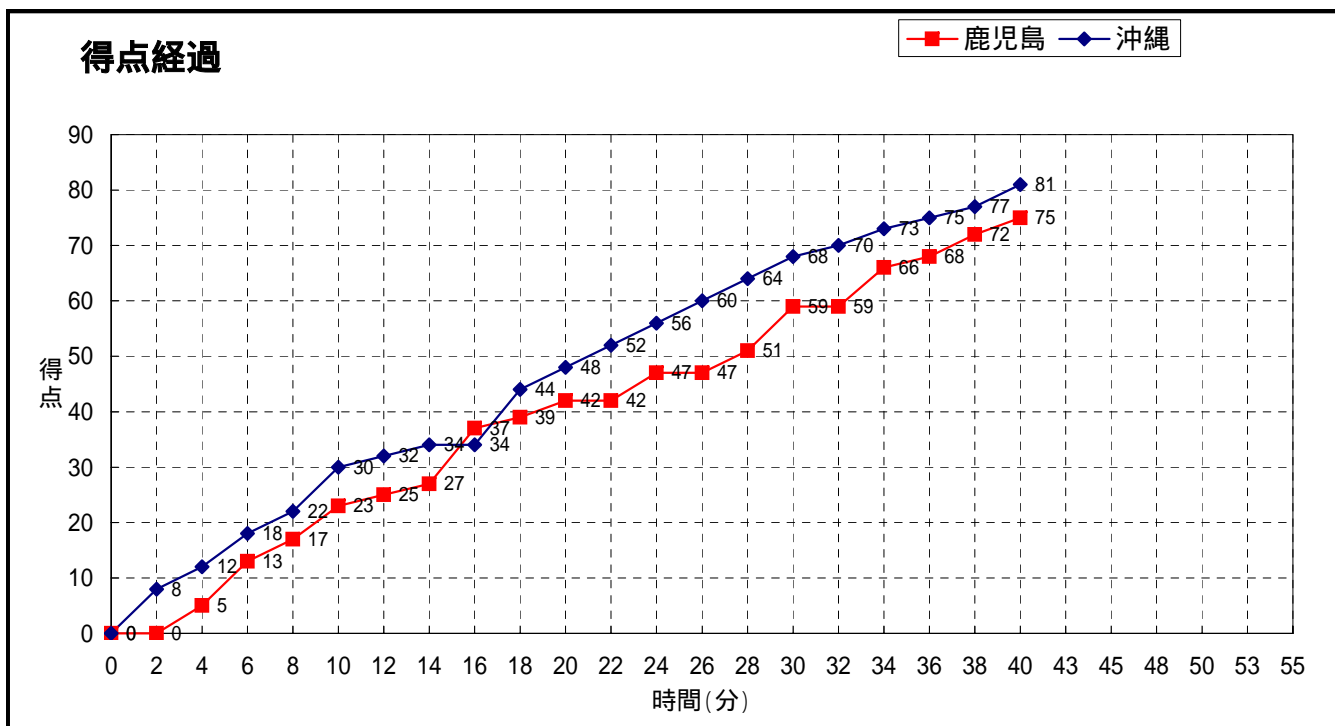
開始時間: 10:00

副審: 中村 充宏

終了時間: 11:33

沖縄		81					75					鹿児島			
(九州)												(九州)			
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		新垣 純	2	0	1	0	0	4	*	金子 芽子	14	1	4	3	3
5	*	奥里 綾子	24	0	9	6	1	5	*	永山 深結	6	2	0	0	4
6		徳村 愛世	0	0	0	0	0	6	*	鞍掛 あゆみ	17	0	8	1	3
7	*	松田 華子	0	0	0	0	0	7		有迫 由衣	7	1	2	0	3
8	*	松井 裕架	4	0	1	2	1	8		上箆 知美	0	0	0	0	1
9		野原 三奈代	0	0	0	0	1	9	*	原園 芽衣	0	0	0	0	0
10	*	照喜名 美幸	18	0	6	6	2	10	*	岩川 有沙	3	1	0	0	2
11	*	兼田 麻衣子	14	0	7	0	3	11		森畑 由紀乃	10	0	5	0	1
12		古堅 夏美	0	0	0	0	0	12		東園 令子	0	0	0	0	1
13		仲嶺 絵里	8	0	2	4	2	13		川本 紗矢香	9	1	3	0	2
14		崎山 芙美乃	0	0	0	0	0	14		上原 希望	9	3	0	0	2
15		金城 理奈	11	1	3	2	0	15		上之原 里奈	0	0	0	0	1
コーチ		安里 辰雄						コーチ		中村 俊次					
		合計	81	1	29	20	10			合計	75	9	22	4	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオドの立ち上がり、先にペースをつかんだのは沖縄だった。沖縄#8松井のスペースを広く使ったゲームメイクから、#10照喜名らがインサイドに飛び込んで次々とシュートを沈める。対する鹿児島は、インサイドのシュートが決まらず苦しい展開となる。しかし、途中出場の鹿児島#7有迫、#14上原らの個人技や3Pシュートなどで得点し、沖縄を追い上げる。

第2ピリオドに入ると、鹿児島はディフェンスのプレッシャーを強め、速い展開へ持ち込み、#4金子が3Pシュートや速攻などで次々と得点していく。沖縄は鹿児島のディフェンスに苦しみ、ミスが目立ちはじめ中盤には逆転を許す。しかし、そこから沖縄#15金城がアグレッシブにリングに挑みはじめ、失いかけた流れを再び引き戻すことに成功。沖縄が再びリードを奪い、48-42として前半を終えた。

第3ピリオド、沖縄は落ち着いてゲームに入り、ディフェンスリバウンドを確実にキープした。オフェンスでは#5奥里が、ランニングプレーやジャンプシュートを着実に決めて、出だしの3分半無得点であった鹿児島をつき放しにかかる。鹿児島はなんとか活路を見い出そうと、3ガードのスマールラインアップで、ディフェンス、オフェンスともに運動量を増やしていく。この作戦が功を奏し、鹿児島は、#13川本らの速攻や#11森畑のゴール下での踏んぱりによって、なんとか1ケタの点差で第4ピリオドに望みをつないだ。

第4ピリオド、鹿児島は逆転へ向け猛攻を見せるも、シュートがなかなか決まらない。しかし、オフェンスリバウンドにくらいつき、それを#6鞍掛の1on1などで得点に結びつけ、残り2分には5点差にまでつめよる。しかし、そこから要所でのパスミスが続き、沖縄をとらえきれない。それに対して沖縄は、#11兼田が勝利を決定づけるリバウンドシュートをしぶとくねじ込み、81-75としてゲーム終了となった。

担当者: 戸屋 龍介(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会